

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2005-528351(P2005-528351A)

【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2003-574110(P2003-574110)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/64 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/547 Z N A

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/19

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/26

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10 1 0 3

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 31/04

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 9/64

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月22日(2006.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

活性化プロテイン C およびキレート化剤を含む医薬組成物。

## 【請求項 2】

活性化プロテイン C ; キレート化剤 ; および再構築希釈剤、静脈内注入溶液剤、およびそれらの混合物からなる群から選ばれる希釈剤を含む医薬組成物。

## 【請求項 3】

キレート化剤が希釈剤中に存在する、請求項 2 記載の組成物。

## 【請求項 4】

活性化プロテイン C ; キレート化剤 ; マンニトール、トレハロース、ラフィノース、スクロース、およびそれらの混合物からなる群から選択される充填剤 ; 塩化カリウムおよび塩化ナトリウムからなる群から選択される塩 ; ならびにトリス - 酢酸、クエン酸ナトリウム、リン酸ナトリウム、およびそれらの混合物からなる群から選択される、再構築すると製剤の pH が約 5 . 5 から約 6 . 5 となる緩衝液を含む凍結乾燥製剤。

## 【請求項 5】

再構築活性化プロテイン C、およびキレート化剤を含む希釈剤を含む医薬組成物であって、

該活性化プロテイン C が、活性化プロテイン C ; キレート化剤 ; マンニトール、トレハロース、ラフィノース、スクロース、およびそれらの混合物からなる群から選択される充填剤 ; 塩化カリウムおよび塩化ナトリウムからなる群から選択される塩 ; ならびにトリス - 酢酸、クエン酸ナトリウム、リン酸ナトリウム、およびそれらの混合物からなる群から選択される、再構築すると製剤の pH が約 5 . 5 から約 6 . 5 となる緩衝液を含む凍結乾燥製剤から再構築され、

該希釈剤が再構築希釈剤、静脈内注入溶液剤、およびそれらの混合物からなる群から選択される  
医薬組成物。